

## つるた夢体操で日々健康・鶴遊館

鶴田町保健福祉センター「鶴遊館」では、毎週月・水・金曜日の高齢者が利用する入浴日になると、娯楽室に利用者が集まり、入浴前の運動として「つるた夢体操」が行われています。

入浴日の朝、社会福祉協議会職員の指導の下、つるた夢音頭の音楽に合わせて、利用者の皆さんがこの体操を実践。毎回入浴の前にこの体操に参加しているという眞藤きよゑさん（78歳・派立）に感想を伺うと、「この体操をすると体が軽くなって、動きが速くなるような気がします。毎日楽しくて最高です」と元気に笑顔で語ってくださいました。

利用者に大変好評で参加者が徐々に増えているとのこと。

入浴をご利用の際はぜひ「つるた夢体操」を行ってみてください。健康になること間違いなしです。



△夢体操の楽しさを語る眞藤さん



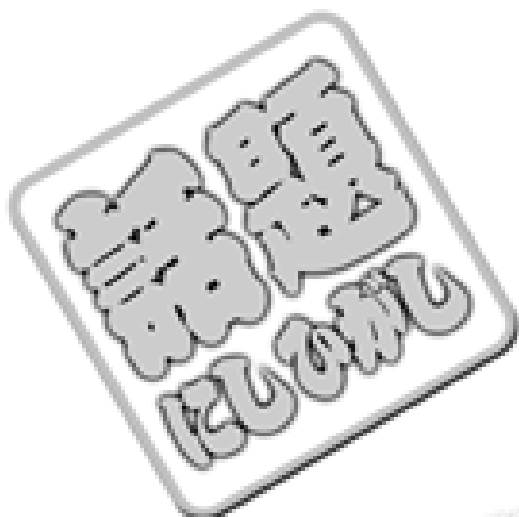
△楽しそうに夢体操を行う利用者の皆さん



1/25 木村カツさんに100歳達成ゴールドメダルが授与される

2/3中央保育所部分豆まき

1/10一人暮らし高齢者を招いての昼食会でサエラがコンサート



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

## 太鼓の会がさつま町へ

1月9日（土）～11日（月）までの3日間、鶴田町太鼓の会（渋谷善三郎会長）の皆さんが、鹿児島県さつま町に行き、五ツ太鼓の研修を行いました。

今回の研修は、さつま町にある正調五ツ太鼓宗家小牟田流の家元である瀬戸口留美子さんから、技術の指導と新曲を学ぶために行われました。

鶴田町太鼓の会の演奏を見た家元から「間違いなく小牟田流五ツ太鼓を守ってくださっている」と嬉しいことばいただき、メンバー一堂感動しつつこの3日間の研修を終えることができました。新曲が待ちどおしいですね。



師範 内村千鶴さんの華麗な撥さばき



日高町長を囲み 今回参加したメンバー



△3日間にわたり厳しい練習が続きました

## 将来の目標に向かって・立志式

2月10日（水）、鶴田中学校（稲場締男校長）で、2年生167人（男83人、女84人）が、元服に由来した成人の儀式である立志式に臨みました。式辞の中で稲場校長は、「自分勝手な小さい目標を持つのではなく、世界にはばたく大きな目標を持ってください」と生徒に言葉を贈ると、生徒代表の木村夏貴君は「新しい時代をつくるのはわたしたちの使命と思い、目標と自覚を持って頑張ります。」と誓いの言葉を述べました。

この日生徒たちは来賓や保護者に見守られる中、それぞれに志を立て、将来の目標へ向かってがんばることを誓いました。



△誓いの言葉を述べる木村夏貴君



△学年全員で町民顕彰を読み上げ、目標を持つことを誓う



写真左は激励会前の栃翼さん、写真右上は花束が贈られ鶴田美人に見とれてしまう栃翼さん、写真右下は今年の決意を語る会場の様子



## 今年こそ関取だ！ 栃翼さんを激励

鶴田町廻堰出身、春日野部屋の幕下31枚目 栃翼（とちつばさ）・本名 加賀谷 祐一（かがや ゆういち）さんが、初場所を5勝2敗で勝ち越し、関取（十両）へ向けて幸先の良いスタートを切りました。

1月27日（水）、鶴田大相撲愛好会（藤田努会長）の新年会が町内某所で開かれ、帰郷した栃翼さんへの激励会が行われました。

激励会で栃翼さんは「いつも声援ありがとうございます。以前はけがをして調子を落としてしまったので、今年は無理をせず、けいこに精進して、みなさんの期待に応えられるよう上（十両）を目指します」と力強く今年の決意を語ってくれました。身長167cm、体重100kg足らずと相撲界の中でもひととき小さな栃翼さんですが、自分より大きな力士と闘うため、人一倍の努力と研究を日々重ねています。

来場所勝ち越すと十両はもう目前、ケツバレ栃翼！

## 生産者200人が剪定技術を学ぶ

1月4日（月）、鶴田地区りんご支会連絡協議会、町、つがるにしきた農協鶴翔地区りんご共同防除組合の共催で「新春剪定会」が宮本良一さん所有のりんご園地（鶴田字早瀬）で開催され、生産者の方々約200人が剪定技術を学びました。

はじめに鶴田地区りんご支会連絡協議会の浅利豪会長から「昨年はずつ割れが多く生産者を悩ませましたが、今年こそ技術をしっかり学び品質の良いりんごがたくさん収穫できるよう皆さん力を合わせて頑張りましょう」とあいさつの後、青森県りんご剪定士の下山司さんが講師を務めて剪定の技術指導が行われました。参加した生産者の方々は、食い入るように講師の剪定する枝を見つめ、切る枝、残す枝のポイントなどを講師に質問して技術を習得していました。



△生産者の方々へていねいに指導する剪定士の下山さん